

# ■総会レポート

## 事務局の紹介

### —自己紹介—

#### はじめに

今年(2016年)1月1日付で技術部部長に就任いたしました上田純と申します。

協会職員には上田姓の方が既にいらした(悦紀さん)関係で、協会内では「純さん」と呼ばれています。物心ついて五十数年、このような経験は初めてで、職員9名の小さな所帯なのに珍しいことだと感じています。

協会では、技術部会と政策部会をサポートさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

#### 略歴

1958年8月、福島県相馬市に生まれ、大学卒業までを福島県と宮城県で過ごしました。1982年に日立製作所に入社、以来ずっと電力関連の仕事(送変電の営業技術、発電のマーケティング等)をしてまいりました。

#### 風力発電とのかかわり

前の会社では、発電のマーケティングをしていた時期に Gamesa が売りに出され、買収の提案をしたことがありました。(検討の俎上に載ることなく終わりましたが)

2012年10月以降の約3年間は、自然エネルギー(太陽光と風力)を扱う部署にりましたが、もっぱら太陽光が忙しく、風力にはあまり深くかかわることがありませんでした。中条(新潟県胎内市)の2MW風車、深芝(茨城県神栖市)の5MW風車(写真)の竣工式に出席したのが強く印象に残っています。

#### 個人的なこと

スポーツはやるのも観るのも好きですが、寄る年波には勝てず、やる機会はずいぶん減りました。

日本風力発電協会 技術部 上田 純

た。今、最も興味があるのはサッカー観戦で、柏レイソルはJリーグ発足以前から応援しています。ここ二十年ぐらひは、年間チケットを購入し、ホームゲームを中心に、年間約20試合ぐらひを観戦しているでしょうか。今年は、若手の成長が著しく、下部組織にも有望な選手がたくさんいて、将来がとても楽しみです。また、アウトドアが好きで、特に自然の中でのたき火とそれを眺めながらお酒を飲むひとはまさに至福です。



鹿島港深芝風力発電所(日立ウィンドパワー)

#### おわりに

日本が風力発電後進国であることを痛感しています。協会職員として、日本の風力発電の発展に微力ながら力を尽くす所存ですので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。